

北川の魚信

2011年7月10日

vol. 89

梅雨明け宣言
号

発行 北川かっぱの会

<http://homepage3.nifty.com/kitagawakappanokai/>
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

オオフサモの試験的な駆除を実施！



5月14日(土)、北川に繁殖しているオオフサモ(特定外来生物で繁殖すると川の水流を妨げ、水質を悪化させる恐れがある)の試験的な駆除を行いました。15時から約2時間弱をかけ、市役所の全面的な協力のもと、11名で群落している3か所で駆除を行いました。これまで、オオフサモの駆除を体験したことがなかったことから、駆除するための道具は何がいいのか、また駆除時に流出したオオフサモをとらえるのにはどのような方法が望ましいのか等の点について、検討を行いつつ駆除を行いました。オオフサモの根はかなり深く、土を掘り起こしながらの作業となりました。根を掘り起こすとき有効だったのは、鋤(3本歯)と熊手(潮干狩り用のもの)でした。スコップや移植ゴテも使用してみたのですが、鋤や熊手ほど上手に掘り起こすことはできませんでした。また、オオフサモを引き抜くと、どうしても一部の茎や葉が下流に流れてしまう(そして、別な場所に根付く!)のですが、これを確実にキャッチしていくためには、下流側にきっちりと網を張っておくことが重要で

あることがわかりました。今回は下流側に投網を横に張ってみたのですが、投網よりは手網やサデ網などを張り、1名見張り役を立てて流れてきた茎や葉を手網で回収するくらいのことをやっていくことが重要であると認識しました（なお、翌15日に実施の北川クリーンアップでは、多くのオオフサモの茎と葉を回収しました。今後のていねいな駆除作業、回収作業が望まれるところです）。回収したオオフサモは、北川の一部の区間だけでしたが、大きなゴミ袋で10袋以上あり、本格的に駆除を実施した場合には、相当な量になることが予想されます。北川かっぱの会では、秋に本格的な駆除作業を行う方向で調整を行っていきたいと考えています。

—2011年 7月～9月 活動スケジュール—

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

8/13,9/10(土) 集合：北山小正門前

東村山市みどりの楽校「探検講座」

8/20(土)13～21時 八国山や北川、

八国山たいけんの里を中心とした探

検講座。夜はライトトラップ（夜間

昆虫採集）を予定。詳細は市報（8/1

版）に掲載。スタッフ募集中

東村山市公民館「市民講座」

ちょっとへんだぞ変化している自然

環境

8/28,9/25(日)10～12時秋津公民館

9/4,9/18(日)10～12時 北川流域で

のフィールドワーク

北川かっぱの会のメンバーが講師を

勤め、北川流域を中心とした地域の

自然環境の変化、問題点、自然環境

の復元や保全の方策について解説し

ます。詳細は市報8/15号に掲載。

「かっぱブログ」他にも掲載。

北山公園整備計画意見交換会

（通称「川端会議」）

9/3(土)10～12時 ふるさと歴史館。

北山公園周辺的环境整備について、

市、市民、市民団体の話し合いの場。

どなたでも参加できます。

ブラックバス等防除のための情報

交換会

7/16(土)17時～ 狭山公園パークセ

ンター、市役所、北川かっぱの会で

最近の状況等について情報交換

—小学校土曜講座—

北山小・八国山虫とりハイク

7/16(土)午前5:00～7:30

北山小正門前集合、雨天中止

北山小・北川魚とりと水底生物観察

9/10(土)10:30～12:30 北山小正

門前集合

富士見・南台小トンボとりと北川の魚

9/10(土)10:30～北山公園

北山小・トンボとりとヤゴいかだづくり

9/24(土)9:00～11:30 北山小

かっぱ定例会

9/17(土)15-17時 (MARU茫々亭)

10月～12月頃の活動予定を中心に検

討します。

予告 8/7(日)第16回 北山わんぱく夏まつり

今年も「北山わんぱく夏まつり」の季節がやってきました。多くの子供たちとともに、楽しい夏の日をすごしましょう。

今年も様々な方々のご協力により、充実した内容で開催できることを期待します。多くの方の参加をお待ちしています。

8/7(日)10時～16時 (雨天中止；中止時は「かっぱブログ」に掲載)

主会場 北山公園内親水広場周辺、

サブ会場 八国山たいけんの里、八国山

遊びメニュー

北川カヌー体験、北川ウォーク+魚とり、ザリガニ釣り、八国山虫とりハイク、北川水族館、草笛、(八国山たいけんの里)；弓矢体験、昆虫おりがみ・切り紙他



出店：飲み物他

ライブ：7/9現在調整中

その他：「北川流域を外来生物から守る」ミニセミナー、パネル展示

準備日程

7/23(土)13:30～15:30 夏まつり実行委員会 (MARU茫々亭)

夏まつりの各イベントの担当や行動計画について詰めます

8/6(土)13時～ 準備作業 (北山公園他)

テント・椅子・テーブルの搬入、ザリガニ釣りの竹竿製作、カヌー会場の整備、立て看板の製作、印刷作業他
サポーター多数募集

性別、年齢、経験不問。ホームページからメールでご連絡ください。

なお、夏まつり関係の最新情報は、かっぱブログをご覧ください。



里山管理

最近、八国山の何箇所かで密生したアズマネザサ（篠竹）が刈り取られているのが見られます。これはアズマネザサをむやみに刈った訳ではなく、八国山本来の生物多様性を回復させるために大変意味のある取り組みなのです。

八国山は里山として、下草刈や萌芽更新等の人為的管理が行われ、アカマツやコナラを主とする明るい林として生物多様性が維持されてきました。しかしながら、これらの管理が行われなくなった今、ササや常緑樹（アオキ・ヤツデ等）が密生する藪となり、八国山の生物多様性は危機に瀕しています。アズマネザサが密生すると林床に光が届かず、アズマネザサ以外の植物が生育できなくなります。そうすると食物連鎖で植物と繋がる昆虫類も生息できるものが限られ、鳥類や爬虫類等も含めた生物多様性が失われることとなります。

このことは全国的にも同様で、絶滅危惧種の大半は里山の動植物となっています。「生物多様性国家戦略2010」においては、「里地里山など人間活動の縮小による危機」として、生物多様性についての4つの課題のうちの1つにあげられています。

林内のアズマネザサや常緑樹が除去された場所では、絶滅寸前となっているキンラン・ギンラン等里山の典型的林床植物が見られるようになり、生物多様性が回復することが期待されます。東村山の原風景を取り戻す里山管理を見守っていきましょう。（ビー永島）



ギンラン

6月5日（日）、「全国の川・一斉調査」に参加しました。当日は薄曇りの中、8名で、北川かつぱの会が担当する北川5ヶ所、前川5ヶ所の合計10ヶ所の水質等を調査しました。当日は、まず3グループに分かれ、定点観測点10ヶ所の水温や流れ幅、水深、流速の計測を行い、水を採取しました。また、観測地点の水底生物についても調べました。その後、採取した水を公民館に持ち寄り、パックテストでCOD濃度やpH（酸性度）、亜硝酸濃度、アンモニウム濃度の分析を行うとともに、電気伝導度と透視度の測定も行いました。以下、北川を中心に、いくつか気づいた点を記載します。

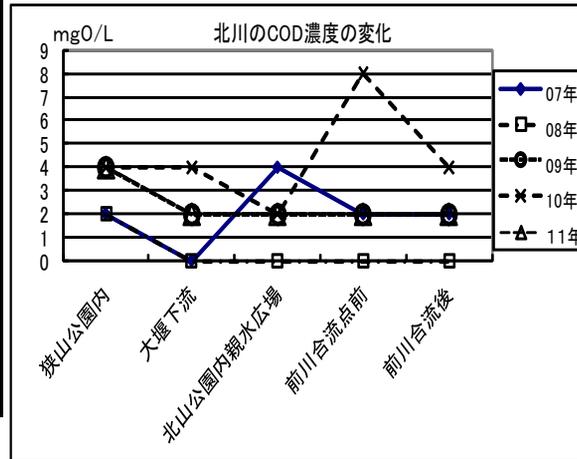
①特に昨年と比較し、全般的に水量が多かった（結果として流速も大きかった）。そして透視度がとても高かった（ほとんどの調査ポイントで1m以上）。また、水温が低く、亜硝酸（NO2-N）のランクが1つ低い調査ポイントがほとんどだった。これらの結果は、調査の直前まで例年に

なく雨量が多かったことが影響しているのではないかと考えられます。

②北川のCOD濃度については、例年と大きな差はないが、ここ3年間、狭山公園内の結果が4ppmと安定した傾向にある（他の調査ポイントは2ppm）。狭山公園内では有機物の多いことが影響している可能性もあります（透視度も他のポイントと比較し低い値となっている）。なお、今年は前川の第3前川橋のCOD濃度が8ppmと高い傾向にあった。何か特殊な事象が影響している可能性もあると考えられます。

③アンモニウム（NH4-N）については、例年とおりの傾向だった。

④電気伝導度は、例年よりやや低い値を示す調査ポイントが多かった。⑤水底生物については、例年とほぼ同様なものが見られた。



第32回春の北川グリーンアップ

5月15日(日曜日)クリーンアップを実施いたしました。当日は、爽やかな快晴に恵まれました。今回も、北川上流部、北山小学校、精心幼稚園近く4箇所に分かれて実施いたしました。

精心幼稚園の集合場所には、毎回、一般参加が少なく市職員とかっぱの会の会員で占められていましたが、今回は、自治会への働きの効果も出て、7名一般参加していただきました。また、子供さんの参加もあり活気がありました。

直近で雨が多かったことが影響したのか、ごみの量はさほど多くありませんでした。

今回は、元気な鯰が顔を見せてくれました、定番の青大将も。

今年は、川の浄化を妨げるオオフサモ(特定外来種)の駆除がかっぱの会の懸案事項となっております。主に上流の一部分に繁殖していることが確認が取れております。下流部分でも、さほどの量ではありませんでしたが、一か所確認いたしました。



今回もトラックいっぱいのゴミが

放置しておくとなり返しのつかないこととなります。ゴミの駆除と同様にオオフサモの駆除も、川の浄化の一貫として実行していくことが必要になっていくと思います。

今回も粗大ごみは全体的にそれほど多くなく、全員事故もなく無事に終了いたしました。

参加していただいた皆さんご苦労様でした。



報告 富士見・南台小土曜子ども講座「水のふしぎ探検隊」を、かっぱの会が講師となり協力しました。6月18日、児童9名が参加し、八国山で「八国山に行こう」を実施しました。梅雨の真っ只中、どんよりした曇り空でしたが、なんとか雨はもってくれました。

春先から季節の進行が遅れている(むしろこれが正常?)せいか、全体的に虫たちの姿は乏しく、ナナフシ等想定していた虫が現れません。いま一つ盛り上がりには欠けたものとなってしまいました。

そんな中でみんなの興味を引いたのは産卵中のカメムシです。金色に輝

く小さな卵を、数十個きれいに並べて産んでいる姿に、いつもはいやがられるカメムシもこの時ばかりは注目の的でした。(ビー永島)



北山小のヤゴ救出、無事終了

5/28予定の北山小のヤゴ救出作戦は、雨天のため講座は中止としましたが、保護者、同伴児童、かっぱ会員、教員によるヤゴ救出作戦は実施しました。

当初のプログラムは割愛しヤゴ取りに専念するかたちで進めました。結果は、事前調査では生息数が少ないことを心配していましたが、相当数のヤゴを救出することができました。こどもの参加は少なかったものの楽しい歓声が響きました。

また、この採取で小3児童が授業で行う、ヤゴの羽化までの観察も支障なく行われました。

●参加者：保護者6名、子ども8名、かっぱ会員7名、教員2名●採取結果ギンヤンマ236頭(体長25~40mm)、アカトンボ類234頭(体長6~12mm)合計470頭(前年比38%)



カワニナ、ヤゴをさがす子ども達

北山小土曜講座 ホタル観察会

毎年ホタルの発生をやきもきする思いで見ながら開催日を決めています。昨年はホタルの発生が大変少なかったため、今年は絶滅を危惧したのを確認し、1週間遅れの6/25開催としました。

例年通りホタル復活に取り組みされた近藤邦雄さんを講師に、まずは生息環境を知るため多摩湖緑地へ移動。カワニナの観察を行いました。

子ども達は、ここでオニヤンマのヤゴを見つけヤゴ取りに夢中になりました。また、今年は多摩湖緑地に都市計画緑地に指定されたこともあり、その意義や活動内容も紹介されました。

狭山公園に戻り日没を迎えると、ホタルが飛びかいはじめ、歓声があがり無事観察会が終了となりました。(遊星歯車)



インフォメーション

会費納入のお願い

かっぱ通信の印刷、郵送費（マスコミや環境関係の識者、他の環境団体への周知経費を含む）や夏まつりの消耗品などの経常的な経費は、皆様からの会費を基に活動を行なっています（企業等からの助成金は、経常的な経費への支出は原則として認められない）。

最低限の活動を行なっていくためにも、7月末までに会費（年間3000円）の振込をお願いいたします。今回、11年度の会費未納付の方には「振込用紙」を送付させていただいております（既に振込済の方にも振込用紙を送付している可能性があります。悪しからずご了解ください）。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

北川かっぱの会 会議日程

定例会 9月17日（土）15～17時

MARU茫茫亭 10月～12月頃までの活動予定を中心に検討します。

●編集後記

ヤゴ救出作戦でのヤゴを4匹飼育した。うち2匹は羽化成功。1匹は終齢幼虫になる脱皮で死に、1匹は羽がうまく広がらず死んだ。実に微妙な生き物の命。

今年のヤゴ救出作戦は放射能問題で中止に至ったところがあったと聞く。プールは止水で放射性物質が貯まっている、そこに入ると内部被曝する、。北山小での簡易測定では有意な差は見いだせなかった。命をはぐくむ教育を風評でつぶされてはかなわない。
(遊星歯車)

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方（参加、入退会自由）を広く募集しております。

●会費 年間3000円

「かっぱ通信」（年5回）をお送りします。

●問い合わせ・申込み先

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先

上記へ現金書留または

〔郵便振替 00120-6-104476〕

〔りそな銀行東村山支店（普）3605694〕

加入者名 北川かっぱの会



●「沙羅の会」様よりカンパいただきました。深謝。

●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いてあります。

『未来の川へ・北川復元プラン』

北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料390円

『北川流域マップー未来の川へー』

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。A2両面版 頒価200円

●発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 TEL 042-395-7705 渡辺